

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0703	曜日時間	金曜日
授業科目	老年看護学援助論Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	15 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	生活調整の必要な高齢者とその家族に対しての看護を学ぶ。						
中核	医療を受ける高齢者の生活行動を整える援助						
授業目標	1. 医療を受ける高齢者の不安や困惑、生活困難に関心を寄せる。 2. 高齢者に特有な症候・疾患・障害がもたらす健康上の問題と生活困難を判断する。 3. 高齢者の健康上の問題に対する援助技術を理解する。 4. 高齢者と家族の意思決定時の支援がわかる。						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	担当	備考
	8	I. 医療を受ける高齢者(外来通院から退院)への援助 1. 外来通院を余儀なくされる高齢者への援助 薬物療法とアドヒアランス (骨粗鬆症・パーキンソンニズム) 2. 入院が高齢者に及ぼす影響と援助 生活環境の変化と危険予測・行動制限 (大腿骨頸部骨折・せん妄・廃用症候群) 3. 手術・検査が高齢者に及ぼす影響と援助 術前検査と高齢者の合併症予防 【学内実習】 体位ドレナージ 4. リハビリテーションを受ける高齢者への援助 生活機能向上：リハビリ訓練と病棟での生活 (痛みとうつ症状) 5. 退院支援(地域連携)と高齢者を介護している家族への援助 要介護者と家族介護者・家族の介護力 6. 施設サービスにおける看護の役割 他職種との連携と協働 (認知症への取り組み：地域の実態) 7. 終末期の看護 ①高齢者の看取り ②看取りを終えた家族への看護 ③死の定義と徴候・喪失体験 ④リビングウィル ⑤高齢者と家族の意思決定支援 ⑥グリーフワーク 8. まとめ 評価		講義 グループ ワーク	16		
課題等	1. 全講義での実際の経験を通して、毎時ノートにリフレクションしていくこと。 2. 毎講義時には、「老年に関するニュース」を必ずひとつ見つけ、ポートフォリオに入れること。						
評価計画方法	1. パフォーマンス課題・成果発表 40% 2. 筆記テスト 50% 3. 課題・演習参加態度 10%						
テキスト参考図書	堀内 ふき他編集：ナーシング・グラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害、メディカ出版 堀内 ふき他編集：ナーシング・グラフィカ 老年看護学②高齢者看護の実践、メディカ出版						
実務歴有							
講義への反映							
備考	用意する物 1. 「老年看護学援助論Ⅱ用」リフレクションノート 2. ポートフォリオ用のファイル1冊						